

F 副都心線はすべての列車が東急東横線へ直通！

東急東横線との相互直通運転ダイヤが決定！



2013.3.16 渋谷、つながる。

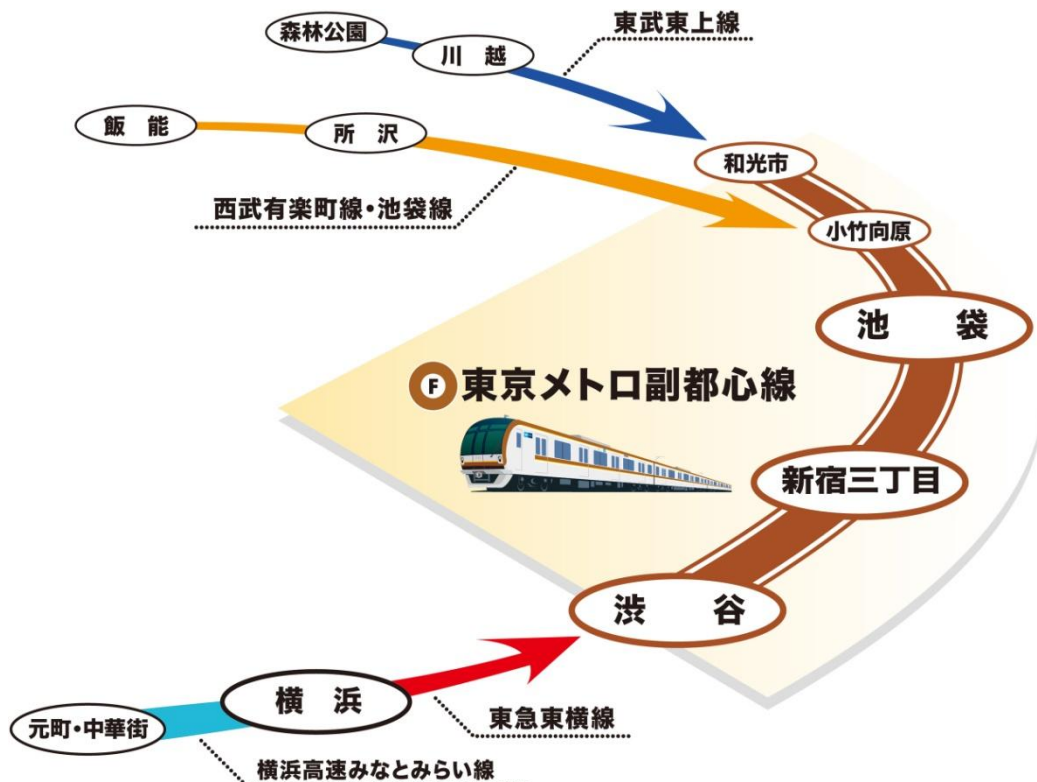
池袋～横浜間を最速 38 分で結ぶ列車を日中 15 分間隔で運行

東京メトロ（本社：東京都台東区 社長：奥 義光）では、平成25年3月16日（土）より予定している副都心線と東急東横線、横浜高速みなとみらい線との相互直通運転ダイヤを決定いたしましたのでお知らせいたします。また、合わせて有楽町線のダイヤも改正いたします。

副都心線は、すべての列車が東急東横線、横浜高速みなとみらい線の横浜、元町・中華街方面へ直通するほか（一部の列車は東急東横線内着）、ほぼ終日にわたり新宿三丁目～渋谷間で各駅停車を増発いたします。

この相互直通運転により、副都心線を中心として埼玉県西南部から横浜・みなとみらいにかけて広域的なネットワークが形成され、ますます便利になります。

ダイヤの詳細については別紙のとおりです。



1 ダイヤの主な変更点

(1) 副都心線

ア 相互直通運転区間の変更 [平日・土休日]

副都心線は、すべての列車が東急東横線、横浜高速みなとみらい線の横浜、元町・中華街方面へ直通いたします。(一部の列車は東急東横線内着となります。)

イ 各駅停車の増発 [平日・土休日]

相互直通運転開始に伴い、副都心線をご利用になるお客様の増加が見込まれることから、主に渋谷～新宿三丁目間で各駅停車を増発いたします。

(ア) 朝ラッシュ時間帯における混雑緩和 [平日]

・渋谷方面から池袋行き各駅停車を増発します。

ラッシュピーク時 4本、ラッシュピーク後 2本

・千川始発渋谷方面行き各駅停車を増発します。

ラッシュピーク時 1本、ラッシュピーク後 1本

(イ) 日中時間帯の利便性向上、夕～深夜時間帯の混雑緩和 [平日・土休日]

ほぼ、終日にわたり渋谷～新宿三丁目間で各駅停車を増発いたします。

ウ 最終列車の繰り下げ [平日]

和光市 23:55 発、渋谷 0:30 着の列車を 14分繰り下げて、和光市 0:07 発、渋谷 0:44 着 (元住吉行き最終列車) といたします。

エ 夜間時間帯における混雑の緩和 (和光市～小竹向原間) [平日]

朝夕時間帯 (始発～10時、17時～終電小竹向原駅時刻) に和光市駅を発着するすべての「急行」を地下鉄成増～氷川台間の各駅に停車する「通勤急行」に変更し、特に夕・夜時間帯に混雑していた各駅停車の混雑緩和を図ります。

オ 日中時間帯の運行改善 [平日・土休日]

地下鉄成増～氷川台間で列車運行間隔が偏っていた時間帯を 約6分の等間隔 といたします。

また、和光市～氷川台間における渋谷方面行き各駅停車は、小竹向原駅での有楽町線新木場行きとの接続を毎時2本から毎時4本に増やします。

カ 速達列車の設定 [日中]

急行列車は、東急東横線・横浜高速みなとみらい線内を「特急」として15分間隔で運転し、池袋～横浜間を最速38分で結ぶほか、西武線内では「快速急行 (直通)」として30分間隔で運転し、渋谷～飯能間を最速58分で結びます。

キ 東武線、西武線方面発着列車の一部見直し

東武線内及び西武線内を発着する列車について、始発駅及び終着駅を見直します。(有楽町線についても同様です。)

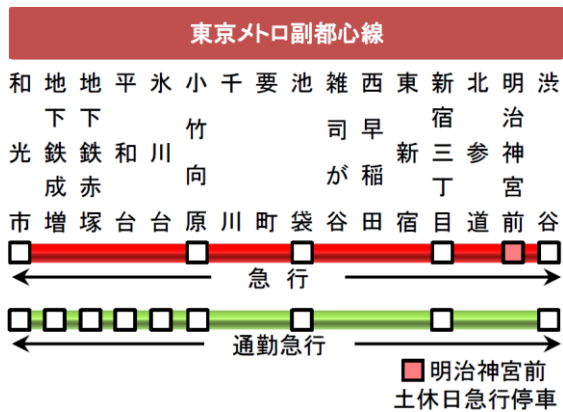
ク 編成両数

副都心線の「急行」及び「通勤急行」列車は10両編成、「各停」は8両編成 (一部の列車は10両編成) で運転いたします。

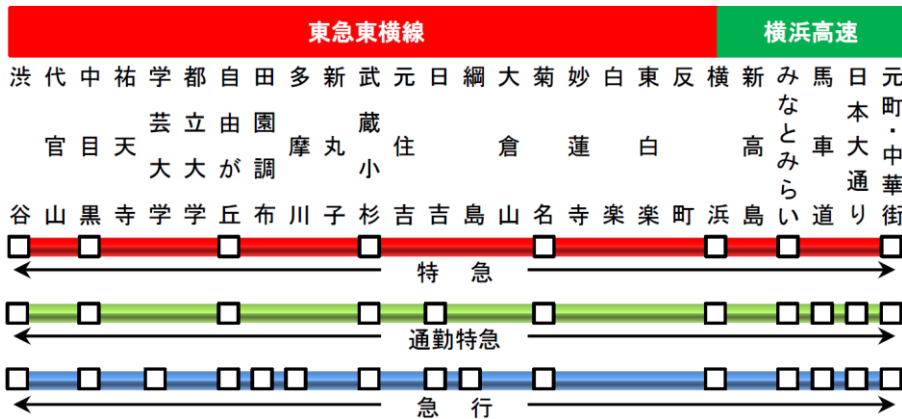
(参 考)

1 特急・急行列車等の停車駅

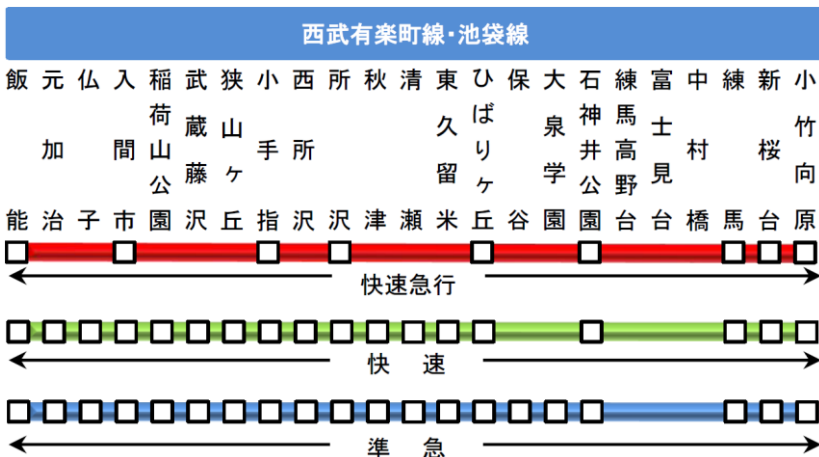
(1) 東京メトロ副都心線



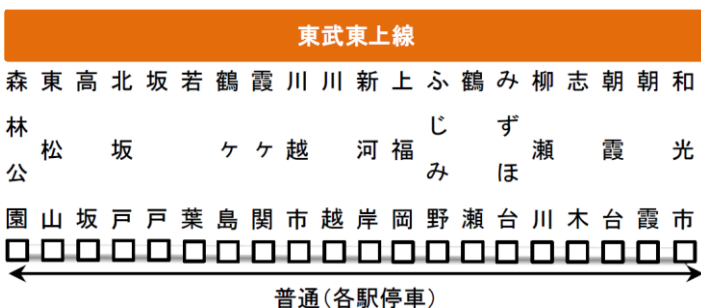
(2) 東急東横線・横浜高速みなとみらい線



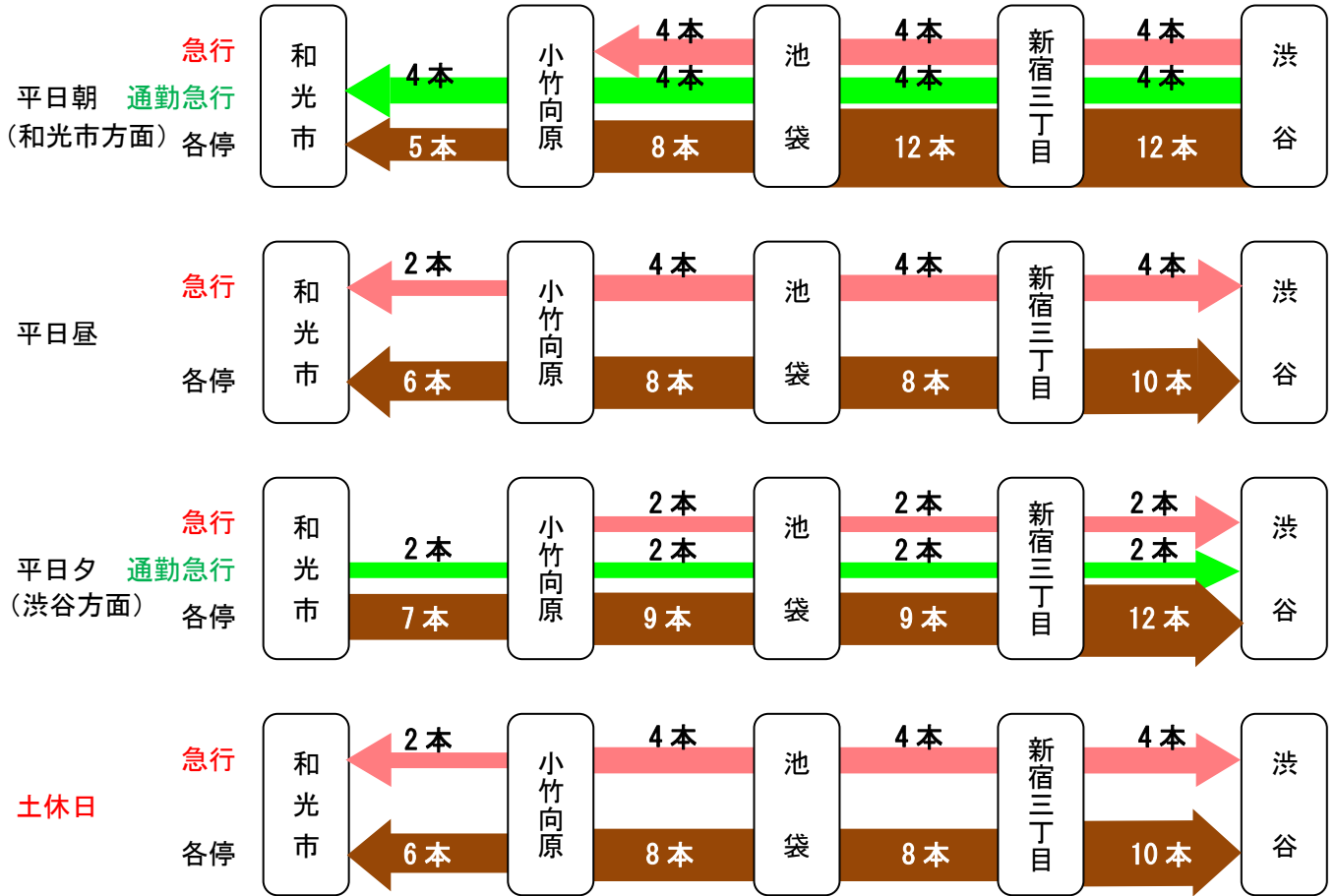
(3) 西武有楽町線・池袋線



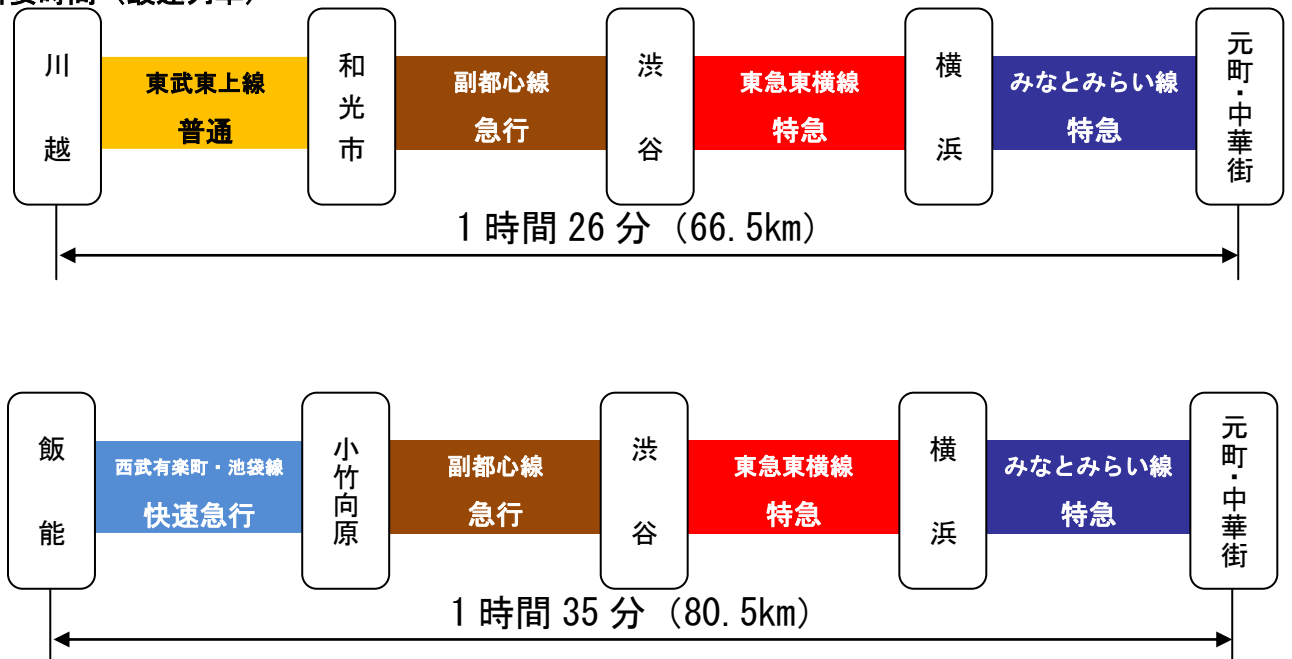
(4) 東武東上線 ※東武線内は各停のみ



2 副都心線1時間当たりの列車運転本数 (和光市～池袋間は有楽町線列車を含まず)



3 所要時間 (最速列車)



※日中時間帯 (土休日は日中時間帯前後も含む) に西武線へ直通する副都心線「急行」列車は、西武線内を「快速急行 (直通)」列車として運転し、渋谷・新宿の副都心から所沢・飯能方面への到達時分を短縮します。